

授業科目名	子ども家庭支援論	科目コード	204027		
開講クラス	こども未来科	コース	保育士・幼稚園教諭	学 年	2 年
担当教員	外部非常勤講師		実務経験教員 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)		
	実務経験内容 ・ 保育園、幼稚園に 25 年間保育者として勤務。 現在は、発達障がい児施設で療育業務に従事。 保育者、指導員として様々な家庭を支援してきた経験を活かし、具体的にわかりやすい授業を行う。 ・ 近畿大学九州短期大学通信教育部非常勤講師				
開講時期	前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期・通年・特別講義・その他		授業コマ数	30 時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	2 単位	
使 用 テキスト 1	書 名	新・基本保育シリーズ5 子ども家庭支援論 第二版			
	著 者	橋本真紀編著			
	出版社	中央法規出版			
使 用 テキスト 2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書	草野いづみ編著 「みんなで考える家庭・家庭支援論」 同文書院				
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ()				
<授業の目的・目標> ・ 社会変化における家族の変化と在り方、地域社会や家族の役割、機能を理解する。 ・ 保育所に求められる子育てセンターとしての役割、子育てを通し親や地域社会への援助の必要性とその方法を理解する。 ・ 子育てを支援している施設や機関などが、社会のニーズにどのように対応しているのか、その役割と機能を理解する。					
<授業の概要・授業方針> ・ 子育てのプロフェッショナルとして、子どもだけでなく、親や親を取り巻く様々な環境に働きかけるスキルと理論が、実際の事例を交えることでわかりやすく理解できる授業を行う。 ・ 子どもを取り巻く社会環境を知ることで、物事を多角的に分析する力が身につく。					
<成績基準・評価基準> 授業の理解度は、授業における発言を含む授業態度と試験・レポートで評価します。 ・ 成績基準 優：80 点以上、良：70 点以上、可：60 点以上、不可：59 点以下 ・ 成績評価 1. 試験・レポート 60% 2. 授業における発言を含む授業態度 30% 3. 出席状況 10%					

＜使用問題集・注意事項＞		
＜授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他＞		
授業科目名	子ども家庭支援論	
回	授 業 内 容	備 考
1	オリエンテーション・概要	
2	家庭支援の対象と役割①	
3	家庭支援の対象と役割②	
4	子どもと家庭①	
5	子どもと家庭②	
6	保育者による家庭支援①	
7	保育者による家庭支援② グループワーク・発表	
8	家庭支援の方法としての保育相談支援①	
9	家庭支援の方法としての保育相談支援② グループワーク	
10	家庭支援の方法としての保育相談支援③ 発表	
11	特別なニーズを有する家庭への支援①	
12	特別なニーズを有する家庭への支援② グループワーク	
13	特別なニーズを有する家庭への支援③ 発表	
14	家庭への個別的な支援①	
15	家庭への個別的な支援②	
16	まとめ①	
17	在宅子育て家庭への支援①	
18	在宅子育て家庭への支援②	
19	社会的養護を要する家庭への支援①	
20	社会的養護を要する家庭への支援②	
21	家庭支援に関わる法・制度①	
22	家庭支援に関わる法・制度②	
23	子どもと家庭を支える機関や人①	
24	子どもと家庭を支える機関や人②	
25	子どもと家庭を支援する事業①	
26	子どもと家庭を支援する事業②	

27	家庭支援や地域の子育て支援の実際①	
28	家庭支援や地域の子育て支援の実際②	
29	まとめ②	
30	試験	